

「今ここにある問題」として～差別とは何か、差別を見抜く力の育成～



研究部会 特集号

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2020年11月10日 第5号発行

11月27日(金)午後3時より 浪速区民センターにて開催

◆お願い◆ 名札をお持ちください。会場では、マスク着用、手指消毒、検温等にご協力ください。

教材	進路保障	ケーススタディ
<p>新型コロナウイルス感染症について 人権HRでどう取り組むか 休校の際、教職員は何に注意し、何を語るのか？</p>	<p>他者との協働作業を通して、自らを知り、 価値観を見直すきっかけを与える授業とは？ 報告：府立桃谷高校Ⅲ部</p>	<p>新型コロナウイルス感染禍における生徒 の生活・進路の状況を知り支援を探る 報告：府立岬高校</p>
<p>「新型コロナウイルスの感染者が校内で出ました。今日からしばらく休校です」と言われたとき、生徒はどのような行動を取るのでしょうか。また、不安を抱える生徒たちが安心して学校生活を送るために、教職員としてどのように対応すべきでしょうか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症についての人権ホームルームや、休校措置になった時の対応で生徒に何を伝える必要があるのかをみなさんと一緒に考えていきたいと思います。実際に休校措置を取った学校からお話をうかがい、丁寧に生徒へ伝えるための教材をつくる企画です。このテーマで教材や資料をつくれた先生は、ぜひ教材をお持ちください。</p> <p>教材交流もしますので、 テーマ以外の教材も40部ほどお持ちください。</p> 	<p>本年度の秋季セミナーでは「同和教育の総和」としての進路保障の取り組みについて考えました。今日の社会では卒業時に一括採用された企業・会社に終身雇用される形よりも、キャリアを通じて転職や起業を繰り返す方が一般的になりつつあります。その変化を踏まえれば、いま生徒たちに求められているのは「自分自身を知ること」と「多様な他者とのコミュニケーションに踏み出す意欲とスキルを獲得すること」といえるのではないのでしょうか。</p> <p>今回は、前半に府立桃谷高校から多様な他者とのコミュニケーションを通じて生徒が自らの内面にある価値観を見直していく実践を報告していただきます。生徒の価値観が様々に変容していくようすを聞かせていただける予定です。後半は、「自分を知ること」と「多様な他者とのコミュニケーションに踏み出す意欲とスキルの獲得」というテーマで情報交換をします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染禍に置かれている生徒に、日々どのような支援ができるのかを考える交流会を企画しました。保護者の失業・減収などで生活が不安定となり、影響を受けている生徒も多くいます。生徒の実態を把握した上で、コロナ禍における就職の「求人を取りやめ」、「オンライン面接の実施」、「進学の資金面の相談」など、各学校現場で課題になっていることや、懸念されることなどを共有しましょう。</p> <p>当日は、さまざまなケースを持ち寄り共有したうえで、私たち教職員ができることは何か、生徒が安心して学校生活を送るには、どのような支援が必要かを交流しながら考えていきたいと思ひます。</p> 

※新型コロナウイルス感染拡大等、今後の状況によっては人数制限をする可能性があります。
※なるべく事前にメールでお申し込みください。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106 府立柴島高等学校内

(通郵便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-mail furitsuinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくEメールをご利用ください。)

URL <http://furitsuinken.in.cocacn.jp/>



↑府立人研 HP も
チェックしてくださいね

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。